

ロクマル キーワード
Keyword

12月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『DX～デジタルトランスフォーメーション～』
(Digital Transformation)

デジタル技術の活用で人々の生活を豊かに
DXとは、広義には「進化したデジタル技術の浸透が、人々の生活をより良い方向に変化させる」という意味で、2004年にスウェーデンのストルターマン教授が提唱した概念です。日本では、国が「将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること」と位置付け、企業がDXを推進するためのガイドラインを作成したことから、ビジネスシーンなどで注目を集めるようになりました。

ポストコロナ時代に対応したDXの推進

近い将来、日本の多くの企業では、既存のITシステムが老朽化することで、企業の成長が妨げられるなど「2025年の崖」と呼ばれる問題が生じると警告されています。変化し続ける社会の中、本市においても、窓口のオンライン化をはじめとした市民サービスの向上や市役所業務の効率化を図るため、令和2年11月にさいたま市DX推進本部を設置しました。ポストコロナ時代に求められるデジタル優先の行政運営への転換を目指しています。

※「Digital Transformation」の略称は、英語圏では一般的に「Trans」を「X」と略すため、「DT」ではなく「DX」と表記しています。

編集後記

議会広報編集委員会

今号から、表紙のイラストをリニューアルしました。各区の魅力をシンプルな「模様」で表現し、飾って取っておきたいようなデザインを目指します。今後どうぞお楽しみに。トピックスでは、俳優の大野拓朗さんへのインタビューを行いました。海外も視野に入れ活躍する大野さんは、地元さいたま市への愛着もあふれる、とても気さくな方でした。さて、まもなく始まる2月定例会では、次年度の予算審査が行われます。今後もしさいたま市議会にぜひご注目ください。

- [委員長] 渋谷佳孝 [副委員長] 高柳俊哉
[委員] 出雲圭子 富田かおり 石関洋臣
服部 剛 新藤信夫 谷中信人
江原大輔 神田義行 萩原章弘

さいたま模様



開閉美演の様子

今号の表紙は

緑区

- 見沼通船堀 ●サクラ
- シラサギ

見沼通船堀は、見沼代用水と芝川を結ぶこうもん閘門式運河です。1731年に開通し、農産物などを江戸へ運ぶ水上交通の要として昭和初期まで活用されました。「新」の旗は「新しい水路(新川)」の意といわれ、幕府の許可を得た船であることを示しています。

次の定例会は
2月2日(火)～

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課(Tel.829-1753)までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

開催日当日、議会棟3階で受付しています。

※感染症予防のため、傍聴はできる限りお控えください(本会議はインターネット議会議中継でご覧になれます)。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



テレビ番組

「ようこそさいたま市議会へ」テレビ埼玉
令和3年3月28日(日) 午前10時～ 放送予定
過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

